

ポーランド

1. 2004年非鉄金属一般概況

ポーランド銅公社 (KGHM Polska Miedz) は、世界第6位の銅生産者で2004年の生産量は、電気銅が550,066 tで前年比3.9%増、売上高25.5%増、操業利益2.1倍、純利益2.0倍と大幅に業績を伸ばした。同社は、生産量増加及び銅・銀価格上昇により、過去最高益を記録した。

2. 2004年鉱業政策の主な動き

ポーランド政府は国有企業の民営化を進めている。非鉄鉱業分野でも、KGHM Polska Miedz社を始めとする多くの企業が民営化された。亜鉛製錬所のZGH Boleslaw製錬所とHC Miasteczko製錬所等の民営化が報道されたが、その後の動向は伝わっていない。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

主要鉱産物の生産および消費動向

単位：千t

年	鉱山生産量		地金生産量		地金消費量	
	2003	2004	2003	2004	2003	2004
銅	584.1	600.0	529.6	550.1	248.4	267.9
鉛	54.7	56.5	74.4	75.0	63.9	81.0
亜鉛	153.9	150.0	154	154	102	95
ニッケル	-	-	-	-	1.5	2.1

2004年ポーランドの主要輸出相手国（上位3国）

銅地金	1	ドイツ
	2	フランス
	3	中国
鉛地金	1	ドイツ
	2	イタリア
	3	スウェーデン
亜鉛地金	1	ドイツ
	2	スロバキア
	3	チェコ

資料：W M S Year Book 2005、INSG Monthly Bulletin March 2005、ILZSG Monthly Bulletin April 2005

4. 鉱山会社活動状況

① ポーランド銅公社 (KGHM Polska Miedz)

ポーランド銅公社 (KGHM Polska Miedz) は、2004年末現在、ポーランド財務省が44.28%のシェアを有する世界第6位の銅生産者である。2004年の生産量は、電気銅が550,066 tで前年比3.9%増、銀が1,344 tで前年比0.1%減であった。売上高は1,582,359千€で前年の25.5%増、操業利益は323,559千€で前年の2.1倍、

純利益は308,189千€で前年の2.0倍と大幅に業績を伸ばした。これは生産量増加及び銅・銀価格上昇によるもので、過去最高益を記録した。

KGHMは2004年4月、新たなSW-4立坑の設置場所を選定し採掘許可を受けた。探鉱のための掘削作業を実施、2005年半ばには立坑建設を開始する予定となっている。またコスト削減のため、電力プラントの更新、精鉱品位向上のためのプラント作業、鉄道輸送から水力輸送

(hydrotransport) への転換等を進める予定。また KGHM は、2004 年 10 月末、中国 Minmetals と 2005 年から 2010 年にかけて銅カソードを 30 万 t 供給する総額 10 億 US ドル相当の契約を締結、2005 年には 4~5 万 t 供給される予定となっている。

KGHM は、さらに生産拠点をペルー、フィリピン、コンゴ民主共和国などの海外に求めることを検討、Monterrico Metals 社が所有するペルーの Rio Blanco 鉱山の買収を検討しているとの報道がある。

② 亜鉛鉱山・製錬所

亜鉛は Trezebionka 鉱山と Boleslaw 鉱山から生産される。2001 年の精鉱生産量は 237,000 t であった。鉱量枯渇のため Trezebionka 鉱山は 2006 年に閉山予定、Boleslaw 鉱山は 2014

年から 2019 年頃までの操業が予定されている。Boleslaw 鉱山は地下 140m で年間 273 万 t の鉱石を採掘している。

ポーランドには亜鉛製錬所が 2001 年に 3 つあったが、HMN Szopienice 製錬所は 2002 年 1 月に操業を停止した。現在は ZGH Boleslaw 製錬所と HC Miasteczko Slaskie 製錬所が稼働している。ポーランド財務省は両製錬所を合併して 1 社とするか、あるいは売却・民営化するかを決定するとの報道が 2003 年夏にあったが、その後の動向は伝わっていない。

ZGH Boleslaw は、2005 年 1 月、ポーランドの非鉄トレーダー Impexmetal 社と亜鉛 12,600t、15 百万 US ドル相当の 1 年供給契約を締結している。

(2005. 5. 27/ロンドン事務所 嘉村 潤)